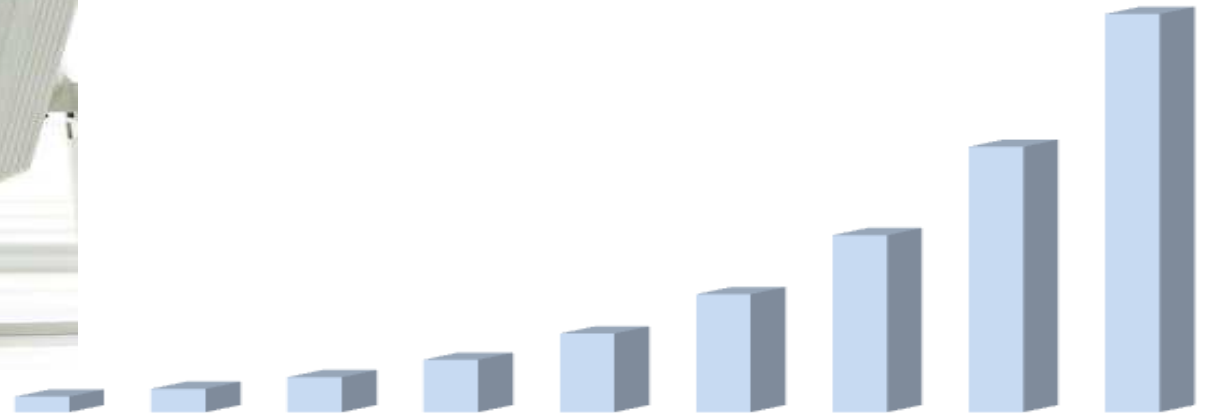


ソフトマックス株式会社

2022年12月期第2四半期
決算補足説明資料

2022年8月9日



- ① 第2四半期累計期間の予算比で、売上高・各段階利益において **増収増益**で着地
- ② 第2四半期累計期間において上場以来、**過去最高の約23億円**の受注
⇒鹿児島県より、Web型電子カルテシステム「PlusUsカルテ」を中心とした医療情報システム導入の約7億円の大口受注
- ③ 積極的な採用活動により業務拡大

	2021年12月末	2022年6月末	2021年12月末比
従業員数	196名	204名	4.1%増



医療費の適正化、医療分野でのDXを含む技術革新を通じサービスの効率化・質の向上

▶▶ 「医療DX令和ビジョン2030」の提言

自由民主党政務調査会(2022.5.17)

- ✓ 医療情報を収集し、その情報を活用する事を目的とした医療DXへの取組を重要な国家事業として位置づけ、行政のみならず、医療界、医学界、産業界が2030年までに一丸となって取り組むべきビジョンとして自由民主党が提言。
電子カルテ普及率を、2026年までに80%、2030年までに100%とする目標を設定。

▶▶ 「骨太の方針2022」閣議決定

内閣府:閣議決定(2022.6.7)

- ✓ 政府内に総理を本部長とする「医療DX推進本部(仮称)」を設置し、医療DXを推進するための重要な施策(三つの取組)を推進
 - ①「全国医療情報プラットフォームの創設」⇒電子カルテ情報等医療全般の情報を共有・交換できる全国的なプラットフォームを創設
 - ②「電子カルテ情報の標準化等」⇒標準型電子カルテの検討、電子カルテデータの有効活用(治療の最適化等)、AI等新しい医療技術の開発
 - ③「診療報酬改定DX」⇒改定作業の効率化、SEの有効活用等により医療保険コスト削減



業績の概要(予算比較)

非接触型の電子カルテシステムへのニーズや国の推奨するオンライン資格確認システム等の医療DX関連システムのニーズの高まりから、当初見込んでいた導入案件に加え、新たな案件が追加となったことにより増収増益で着地。

(単位:百万円、下段は構成比)

	2022年12月期 第2四半期累計			
	予算	実績	増減額	増減率
売上高	1,839 (100.0%)	1,906 (100.0%)	67	3.7%
営業利益	121 (6.6%)	158 (8.3%)	37	31.4%
経常利益	139 (7.6%)	181 (9.5%)	42	30.9%
四半期純利益	92 (5.0%)	118 (6.2%)	26	29.2%



医療DXを推進する音声認識AIの研究・開発

- ✓ 医療従事者を支援するAI搭載電子カルテによる音声入力機能
⇒ 医療従事者の入力業務を軽減し、働き方改革をサポート

データ利活用の新機能・新技術の提供

- ✓ 医療情報交換のための新しい標準規格HL7 FHIRの実装
⇒ 骨太の方針2022の重点計画「電子カルテ情報の標準化等」の実現手段である
HL7 FHIRの実装により、電子カルテ情報の共有を推進

人材の採用と教育の強化

- ✓ 更なる業務拡大のための中途・新卒の採用と、社員教育の強化



社名	ソフトマックス株式会社
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
本店	鹿児島市加治屋町12-11
設立	1974年1月
市場(証券コード)	東京証券取引所グロース(3671)
資本金	437,080,400円
代表者	代表取締役会長 野村 俊郎 代表取締役社長 松島 努
従業員数	204名(2022年6月30日現在)
事業内容	Web型電子カルテシステム等の総合医療情報システムの開発・販売・導入・保守
拠点	東京本社、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、鹿児島本店、 開発事業部ビル含め 計16拠点(2022年6月30日現在)



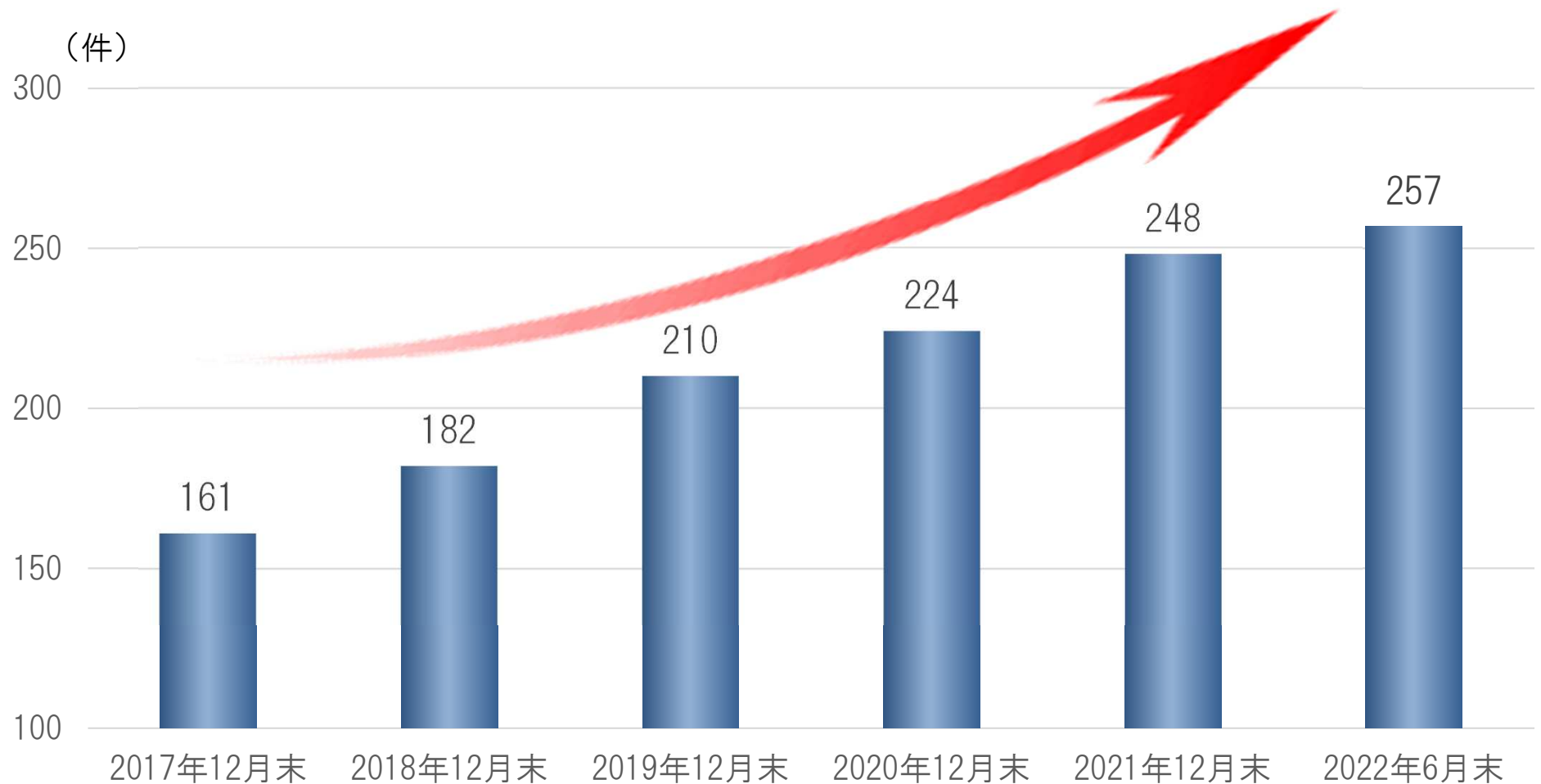
	2018年 通期 (実績)	2019年 通期 (実績)	2020年 通期 (実績)	2021年 通期 (実績)	2022年 通期 (計画)
売上高(百万円)	3,321	↗ 4,332	4,023	↗ 4,489	↗ 4,800
営業利益(百万円)	252	↗ 405	↗ 445	↗ 589	↗ 605
経常利益(百万円)	276	↗ 429	↗ 488	↗ 630	↗ 640
当期純利益(百万円)	175	↗ 270	↗ 334	↗ 422	↗ 423
1株当たり配当金(円) ※1	10.0	↗ 12.0	12.0	↗ 20.0	20.0
売上高営業利益率(%)	7.6	↗ 9.4	↗ 11.1	↗ 13.1	12.6
ROE(%) ※2	10.2	↗ 14.3	↗ 15.7	↗ 17.3	

※1.2019年7月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。2018年度の1株当たり配当金は実際配当金の3分の1にて記載しております。

※2.期首自己資本と期末自己資本を使用しております。



電子カルテ・オーダリングシステムの稼働件数は5年前より約1.6倍となり、堅調に推移。





ソフトマックスは、 クラウド対応Web型電子カルテで 医療DXを推進します。

<本資料のお取り扱いにつきまして>

本資料は情報提供のみを目的として当社が作成した資料であり、当社の有価証券の販売や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を必ずしも保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

